



認め合い、高め合い、支え合う学校で
夢と理想を掲げ、よりよい社会を創造する西中生を育てます！

校長 篠田 豊和

「夢と理想を掲げ、よりよい社会を創造する西中生を」



4月8日、やわらかな春の陽ざしに桜の花びら舞うなか、平成28年度行田市立西中学校入学式・始業式が行われました。新入生145名を迎え、全生徒421名でのスタートです。

新入生は緊張した表情でしたが、担任の先生から呼名されると姿勢よくしっかりと返事をしてくれました。

2、3年生は前日の準備から当日の片づけまで、上級生らしく、進んで仕事をし、式中也素晴らしい態度で臨んでいました。昨年度の自分からしっかりと襷(たすき)を受け

取り、上級生としてスタートした在校生を誇りに思います。

さて、今年度も昨年度同様に『夢と理想を掲げ、よりよい社会を創造する西中生』を学校教育目標とし、未来の自分のために頑張る生徒一人一人を全職員で応援してまいります。また、西小、泉小との小中連携をさらに強化し、地域との結びつきを強めながら学校経営を進めていく所存ですので、保護者の皆様、地域の皆様、どうぞ今年度もよろしくお願いいたします。

入学式・始業式でもお話ししましたが、西中の桜は今年も見事に咲き誇りました。



でもその陰には、誰からも注目されていない夏、秋そして冬の努力の積み重ねがあるのです。西中生も将来の自分のために学力、体力、豊かな心、そしてチーム力を身につけるために、伝統ある西中学校の一員としての自覚と誇りをもって活躍することを期待しています。



「まずは“認め合う”ことから始めましょう」 ～『あいさつ』の大切さ～

4月には新しい出会いがたくさんあります。同級生、先輩・後輩、先生などです。自分と気が合いそうな人もいれば、そうではない人もいるかもしれません。しかし、世の中はいろんなタイプの人がいり成り立つものです。まずはお互いに“認め合う”ことから始めましょう。その最初のきっかけは『あいさつ』です。相手を認め、受け入れようとする心があるから『あいさつ』ができるのです。『あいさつ』はお互いを認め合う第一歩です。